作成日 2009 年 10 月 6 日
改訂日 2023 年 4 月 1 日

製品安全データシート（SDS）
水処理剤シリーズ（固形 pH 調整剤）

1. 製品等および会社情報

製品名：　水処理剤シリーズ（固形 pH 調整剤）
会社名：　日化メンテナンス株式会社
担当部署：　品質・技術グループ
所在地：　茨城県筑西市下江連 1250
電話番号：　0296-26-7039
緊急連絡先：　0296-26-7039
FAX 番号：　0296-28-2734

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性：分類できない
健　康　有　害　性：分類できない
環境に対する有害性：分類できない

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル：　該当しない
注意喚起用語：　該当しない
危険有害性情報：　GHS 分類は該当しないが、多量に吸入、経口摂取すると咳、悪心、嘔吐等を起こす恐れがある。

3. 組成・成分情報

単一物質・混合物の区別：　混合物
化学名または製品名：　水処理剤シリーズ（固形 pH 調整剤）
成分および含有量：

化学名または一般名	含有量(wt%)	化学特性（示性式）	官報公示整理番号（化審法・安衛法）	CAS No.
炭酸カルシウム	75～76	$CaCO_3$	1-122	471-34-1
その他の成分	24～25	－	－	－

4. 応急措置

吸入した場合：　新鮮な空気の場所に移し、水でうがいをする。多量の場合は医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合：　付着部または接触部を水で洗い流す。
目に入った場合：　直ちに多量の水で洗い流す。異物感がある場合は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合：　多量の水を飲ませ吐かせる。多量の場合は医師の診断を受ける。

5.　火災時の措置

消火剤：　製品は不燃性であり、周囲の火災に適合した消火剤を使用する。
特有の危険有害性：　高温で分解する際、イオウ酸化物、一酸化炭素等のガスを発生する恐れがある。
特有の消火方法：　速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器及び周囲に散水して冷却する。風上から消火剤を用いて消火する。
消火を行なう者の保護：　消火活動は風上からおこない、適切な保護具（呼吸保護具、眼鏡、手袋）を着用する。

6.　漏出時の措置

人体に対する注意事項：　漏洩時の処理等の作業の際には、皮膚に直接触れないように保護具（「8. 暴露防止および保護措置」参照）を着用する。漏洩した場所の周辺は関係者以外立ち入り禁止とする。
環境に対する注意事項：　漏出物を河川や下水へ直接流さないよう注意する。大量に河川等へ流出し、周辺環境への影響が懸念される場合には、直ちに関係市町村担当者へ連絡する。
除去・回収方法：　掃き集めて空容器に回収する。
二次災害の防止：　除去作業後に床が濡れた状態の時は滑りやすいため注意する。

7.　取扱い及び保管上の注意

【取扱い】
技術的対策：　粉塵等が発生する場合、または皮膚に直接触れる可能性がある場合は、吸入や眼・皮膚等への接触防止のためマスク、眼鏡、不浸透性手袋等の保護具（「8. 暴露防止および保護措置」参照）を着用する。
注意事項：　容器は破損しないように、投げ積み等をしない。
取扱い注意事項：　必要に応じて換気を十分に行なう。

【保管】
適切な保管条件：　直射日光を避け、通気の良い場所で、湿気を避けて保管する。地面には直置きしない。酸から離して置く。
容器包装材料：　湿気を防いで密閉できる容器を使用する。

8.　暴露防止及び保護措置

管理濃度：　設定されていない。
許容濃度：　日本産業衛生学会[1]：総粉塵　4 mg/m^3　（炭酸カルシウムとして）

ACGIH(TLV)[2]：TWA 10mg/m^3　（炭酸カルシウムとして）

設備対策：　必要に応じて安全シャワー、手・眼の洗浄設備を設置する。
粉塵が発生する場合、排気装置を設置する。

保護具：

・呼吸用保護具：　粉塵が発生する場合は、一般型粉塵マスクを着用する。
・眼の保護具：　必要に応じてゴーグル型保護眼鏡を着用する。
・手の保護具：　必要に応じて不浸透性保護手袋を着用する。
・皮膚・体の保護具：必要に応じて保護衣、保護長靴等を着用する。

9.　物理的及び化学的性質

外観等：　白色流線星型柱状（外接円直径約 62mm、長さ約 135mm）
臭い：　無臭
融点：　分解温度 900 ℃（炭酸カルシウム）
pH：　9.5～10（懸濁水溶液　10g/L-蒸留水）
水溶解性：　難溶
その他の性質：情報無し

10.　安定性及び反応性

安定性：　通常の条件下では安定である。
反応性：　特になし。
避けるべき条件：　特になし。
混触危険物質：　酸性液に接触すると溶解する恐れがある。

11.　有害性情報

急性毒性（炭酸カルシウム）：　LD50　：5,000mg/kg（経口投与：ラット）
亜急性／慢性毒性：　情報なし
皮膚／眼に対する腐食性・刺激性：　情報なし
感作性：　情報なし
変異原性：　情報なし
発がん性：　情報なし
生殖毒性：　情報なし
その他の有害性：　情報なし

12.　環境影響情報

残留性／分解性：　情報なし
生体蓄積性：　情報なし
生態毒性：　情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物： 廃棄を委託する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託し、「廃棄物処理法」「水質汚濁防止法」などの関係法令を遵守する。

汚染容器・　包装：水洗した後、適切に処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号：　該当しない

国連分類：　該当しない

その他：　輸送の場合、周辺環境へ排出しないように注意する。容器・包装等の破損に注意する。

15. 適用法令

- 化審法：　既存化学物質、官報公示整理番号：1-122 （炭酸カルシウム）
- 労働安全衛生法：該当しない
- 化学物質管理促進法（PRTR法）、消防法、毒物劇物取締法：該当しない
- 廃棄物の処理及び清掃に関する法律：産業廃棄物規則（拡散、流出の禁止）

16. その他の情報

参考文献：

1)許容濃度の勧告（2006-2007）日本産業衛生学会　産業医学　48巻

2) American Conference of Governmental Industrial Hygienists (ACGIH) (2007) TLVs and BEIs.

この製品安全データシートは、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意してください。また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。

含有量、物理化学的性質、危険有害性などの記載内容は保証値ではありません。